大阪・関西における空飛ぶクルマを活用したビジネス構想

**記入例**

|  |
| --- |
| ビジネス構想 |
| 構想内容 | 【フェーズ①：短距離観光向けのサービス展開】[構想]・万博後の2026年のサービス開始を念頭に、万博会場近隣から大阪府都心部の遊覧飛行を開始。・2027年ごろには、大阪府都心部と兵庫主要拠点(神戸エリアなど)を繋ぎ、空の観光という新たな魅力を創出する。[実施イメージ]・完全予約制とし運航開始。インバウンド顧客や富裕層ターゲットに価格を設定予定。【フェーズ②：中距離運航のサービス開始】　[構想]・機体開発状況にもよるが2035年ごろに、中距離(30㎞)程度の運航を開始。・大阪府都心部から移動需要の見込める淡路島や関西圏各空港までの運航を想定。[実施イメージ]・完全予約制とし運航実施。インバウンド顧客や富裕層以外にもビジネス層などの一般顧客もターゲットとする。※ただし、上記構想は○○社が開発する機体○○が、202○年上期にTC/ACを取得することを前提に記載しており、機体開発の状況に応じて、構想内容、計画に変更が生じる可能性がある。 |
| 構想実現に向けたアクション | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 |
| 慣熟飛行訓練運航の際に必要なシステムの調整運航パイロット・地上スタッフ育成機体と充電設備の接続試験 | 万博での商用運航 | 商用運航のプロモーション実施 | 旅行会社と観光商品の調整２地点間運航に向けた人材育成の本格化大阪府都心部から神戸エリアへの２地点館運航に向けた調整大阪湾岸エリアでの遊覧飛行開始一部地域での２地間運航の実施 |  |
| 実績（※） |  |  |  |  |  |

※毎会計年度終了後15日以内に、過去１年間の構想実現への実績を記載し、関係自治体の担当者へ提出してください。